

## 産業・経済・労働

### 多良岳のハイキングコースの整備について



岩永 慎太郎 議員

山の遭難事故の約4割が「道迷い」と言われている。多良岳山系を身近な市民の山として、安全登山を楽しめるように、登山道の整備や山域全体の案内地図、貴重な植生の案内、道迷いを無くすための道標の設置など、大村市側の黒木を基点とする登山者の多い大村市が、リーダーシップを発揮して行うべきと考えるがどうか。

答

多良岳山域の自然を観光に生かすために「多良山系トレッキングマップ」を作成し、登山による本市への誘客を図っている。登山者の安全確保や事故防止を目的とした登山道の整備や道標の設置については、山岳関係団体や山林の管理者などの意見を伺いながら、本市での取り組みを研究していきたい。また、山域のルート図や植生の案内看板の設置については、県などと協議をしていきたい。



## 福祉・医療・保健

### 障害者就労支援



中瀬 昭隆 議員

今年1月に長崎市で開催されたダウン症の書道家、金澤翔子さんの書道展はとても感動的であった。障害者に対する思い込みや先入観が、障害者の実生活や就労を阻害している面も大きいと思われる。就労支援の実績を上げている大村市産業支援センターなどで障害者の雇用に関する提言や提案などを含めた取り組みを進めてほしいがどうか。

答

大村市産業支援センターにおいては、就労支援事業所を含む福祉関係からの相談を受け付けており、昨年度延べ54件の相談があった。今後も障害者等の希望や能力を生かした就労支援の推進を就労支援事業所と連携しながら進めていきたい。



## 教育・文化・スポーツ

### 子どもたちの通学路の安全確保について



岩永 慎太郎 議員

通学路の安全確保については、集団下校やボランティア団体によるパトロール、見守り活動など、さまざまな取り組みが行われているが、子どもたちが被害に遭いそうな事案は後を絶たない。防災情報メールマガジンなどによる不審者情報の配信や、市民によるセーフティーネットワークとの連携は、大いに有効と考えるがどうか。

答

不審者情報の配信については、市ホームページや防災ラジオ、フェイスブックやLINE等を活用し、注意喚起を行ってきたい。また、関係諸団体との連携については、青少年健全育成連絡協議会や少年補導委員連絡協議会、PTA、自転車マナーアップ推進協議会など各団体と相互に連携し、子どもたちが安心して通学できる安全な環境づくりに努めている。今後もより一層の連携強化を図ってきたい。



## 産業・経済・労働

### 住宅リフォーム助成制度の復活を求める



宮田 真美 議員

現在、市が取り組んでいる住宅性能向上リフォーム支援事業や店舗バリアフリー改修事業等は、申請の条件や対象が狭い。平成27年度で終了した住宅リフォーム緊急支援事業は、広く市民が気軽に利用でき、業者からも喜ばれていた。実績が証明済みであり、業者からも市民からも復活を望む声が上がっている住宅リフォーム緊急支援事業の復活を求める。

答

住宅リフォーム緊急支援事業は、緊急経済対策として実施していたが、所期の目的を達成したことや、さまざまな業種を対象に地場企業の振興を図る必要があることを理由に事業を終了した。なお、市では、住宅性能向上リフォーム支援事業や店舗バリアフリー改修事業に加え、本年度から新たに、市内で3世代で同居・近居するための住宅の新築や取得、改修費用を補助する3世代同居・近居促進事業を開始した。